

〈ハナネコノメ〉



“ハナネコノメ”がそろそろ咲き出す頃かと思い、高尾山に行った。去年は6号路に咲いていたが、今工事中で通れない。日影沢で探すことにした。なかなか見つけられなかったがそれらしい人が写真を撮っていたので行ってみたら案の定ハナネコノメ狙いの人たちだった。川沿いの岩にしがみつくように数株が咲いていた。マッチ棒のような赤いおしべと白いガク片のコントラストが鮮やかで、カワイイ花だ。一昨年台風19号で大分流されたらしく、“ここしか残ってない”と近くの人が教えてくれた。渓流沿いを棲みかとしているが昨今のようなゲリラ豪雨の濁流が押し寄せたらひとたまりもないだろう。動物のように簡単に居場所を変えられない植物、気候変動にどれだけ対応できるのか心配だ。



一方こちらは、“ヨゴレネコノメ”。名前からしてすでにハンディがあるかわいそうな花だ。派手さはないが、特徴的な黄色い包葉は、玄人好み。こういう脇役がいるからこそ主役が引き立つのだ。赤や黄色やピンクの花ばかりだったら、落ち着かない。人もきっと同じ、その他がいるから花が花でいられる。